



2022年3月期 決算説明会

2022年5月16日

住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

2022年3月期（2021年度） 決算概要

2022年3月期 連結業績 (前年同期比)

(金額単位：億円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年同期比較	
			金額 (-)	増減率
売上収益	2,090	2,631	541	25.9%
事業利益	166	265	98	59.2%
営業利益	199	249	50	25.0%
当期利益	132	183	51	38.6%
ROE	7.0%	8.5%	-	-

「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース

「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

補足) 川澄化学工業：2022年3月期第2四半期実績

売上収益：105億円 事業利益：7億円

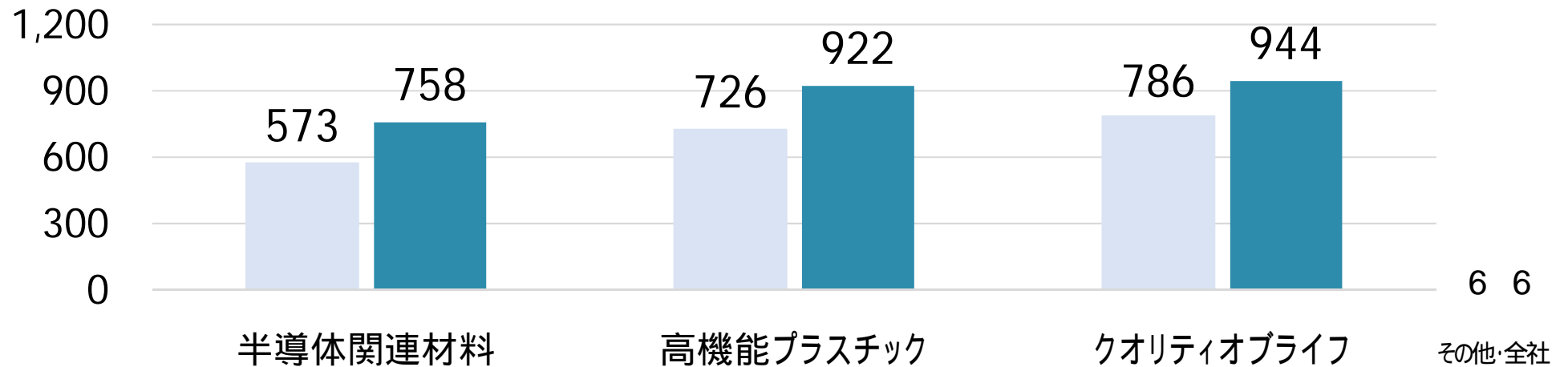
2021年3月期第3四半期より川澄化学工業(株)を連結子会社化

為替レート	2021年3月期	2022年3月期
USD (\$/¥)	106.17	112.86
EUR (€/¥)	123.73	131.01

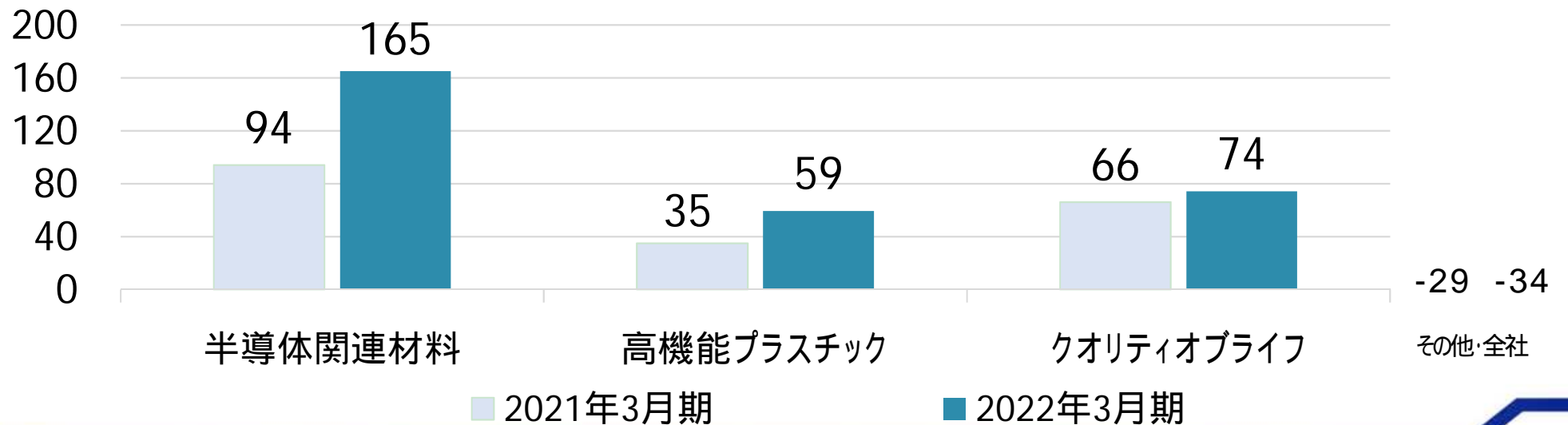
事業セグメント別業績比較（前年同期比）

（金額単位：億円）

売上収益

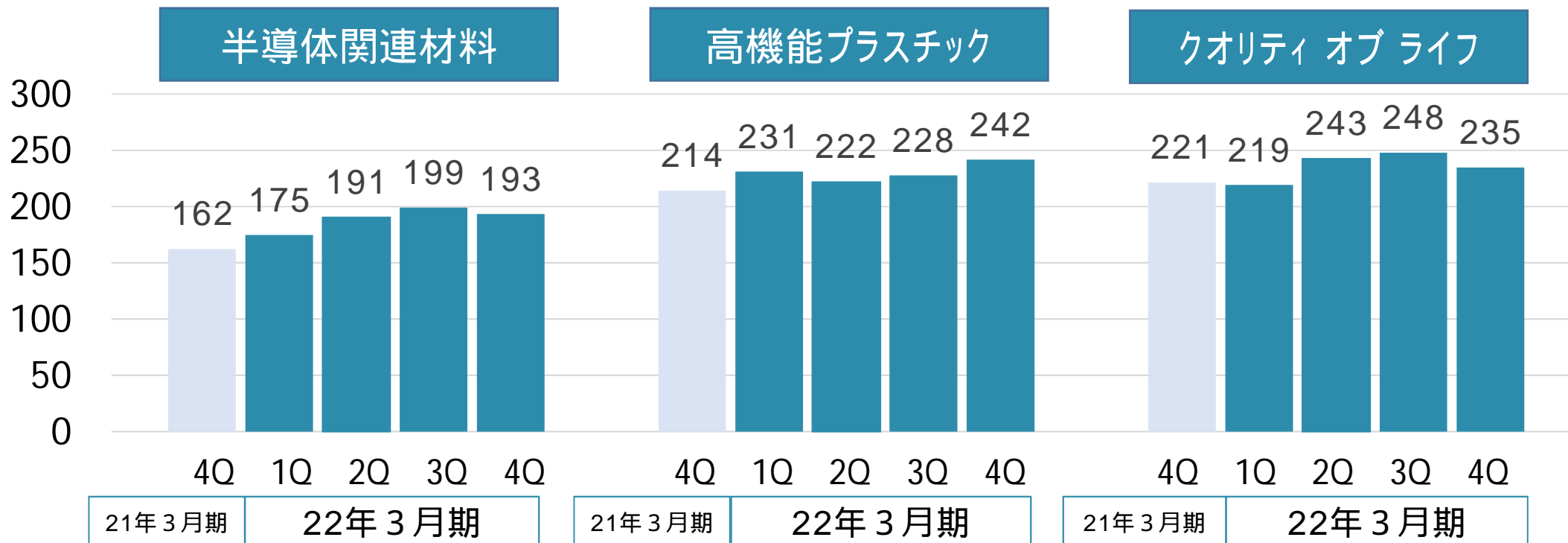


事業利益



事業セグメント別 四半期販売推移

(金額単位：億円)



半導体関連材料

3Q以降、部材不足等による顧客の生産計画調整の影響もあったが、需要は力強く、堅調に推移した。

高機能プラスチック

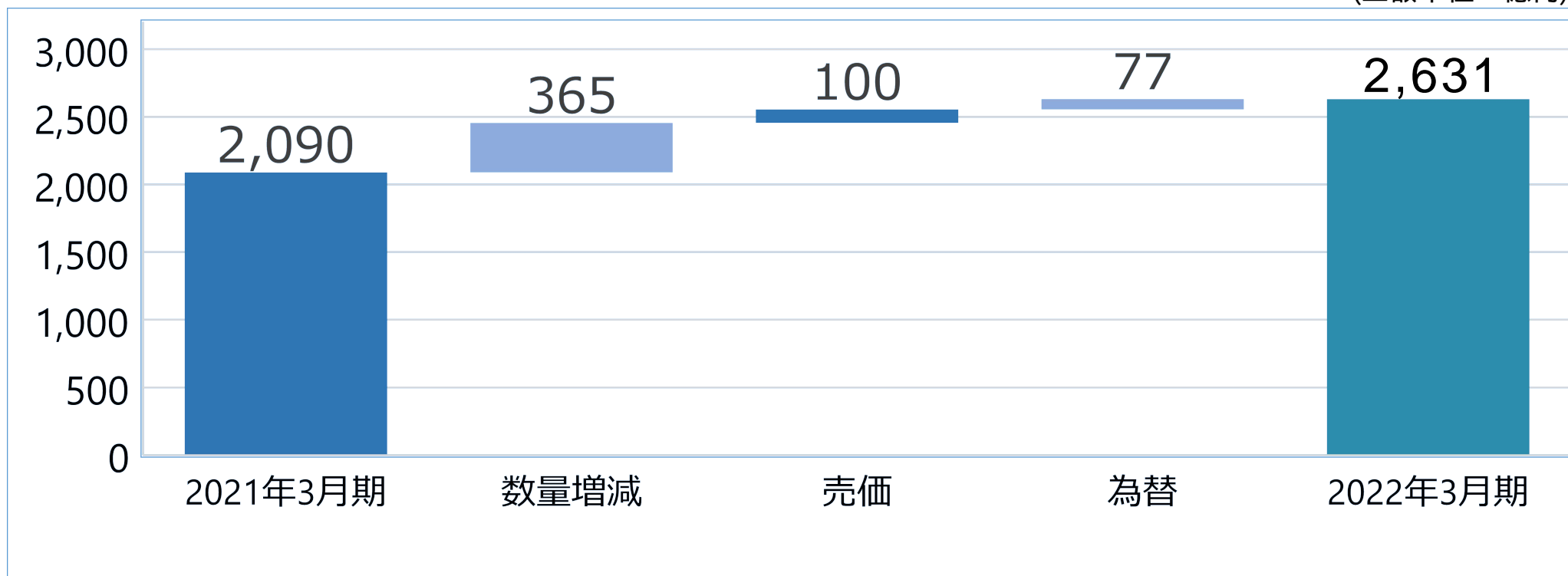
半導体不足による自動車減産の影響も見られるが、原料高騰の製品価格転嫁の進展もあり、伸長した。

クオリティオブライフ

期初で出遅れ感のあったヘルスケア事業やフィルムシート事業の医薬品包装用途は、2Q以降回復基調で推移した。

売上収益増減要因 (前年同期比)

(金額単位：億円)

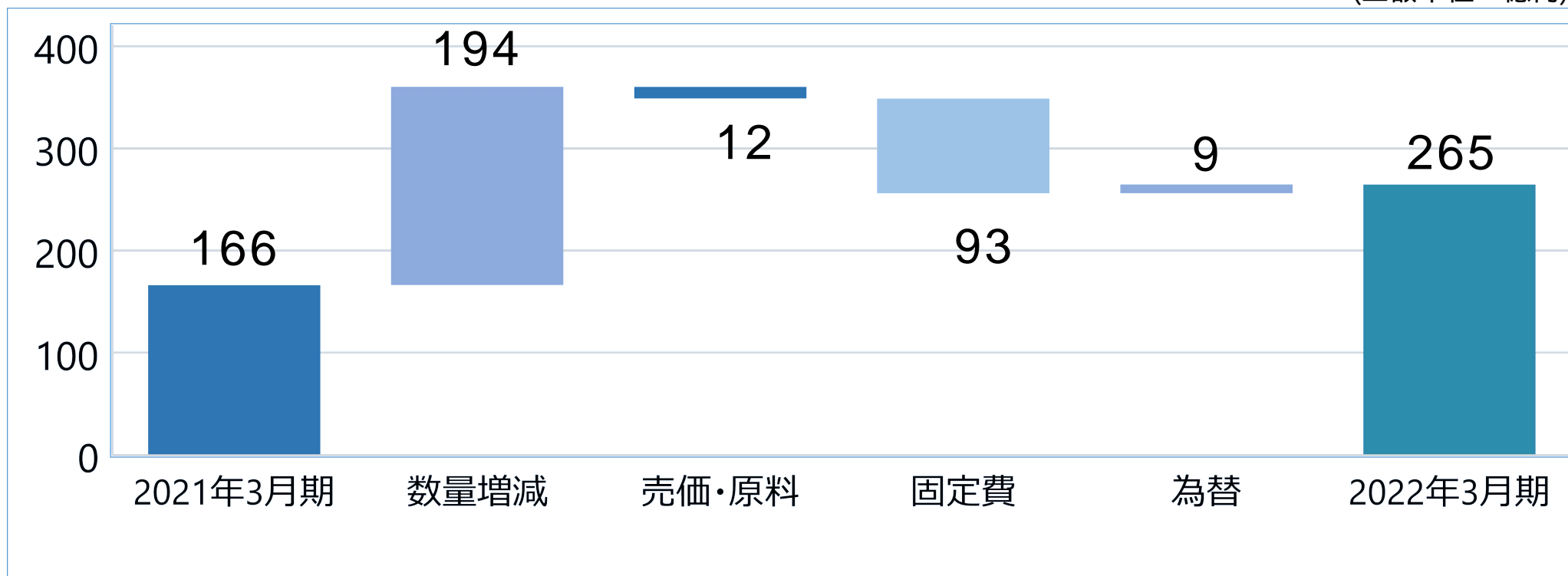


セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	132	26	27	185
高機能プラスチック	88	67	42	197
クオリティオブライフ	144*	7	8	159

*川澄化学工業連結子会社化影響として 105億円が含まれる

事業利益増減要因 (前年同期比)

(金額単位：億円)



セグメント別	数量増減	売価・原料	固定費	為替	合計
半導体関連材料	63	17	15	6	71
高機能プラスチック	56	18	15	2	24
クオリティオブライフ	75*	10	57*	1	8
その他	1	0	6	0	5

*川澄化学工業連結子会社化影響として数量増減に67億円、固定費に 60億円が含まれる

2023年3月期（2022年度） 通期 業績予想

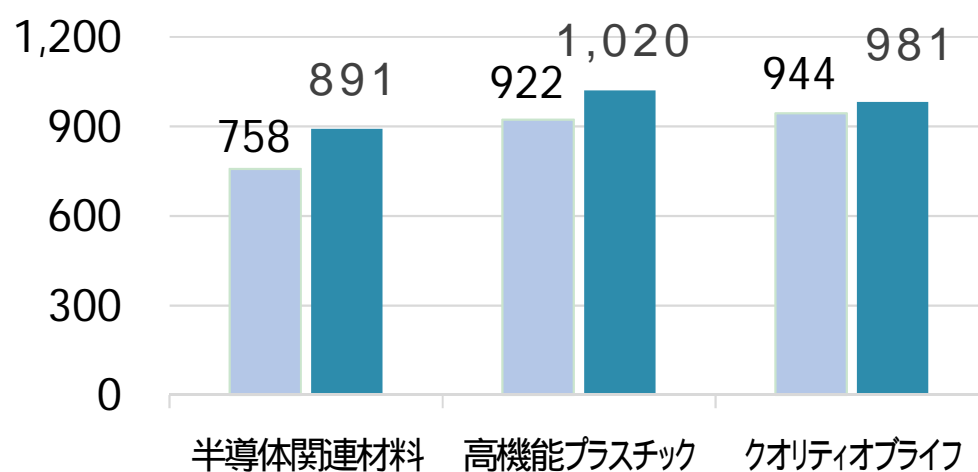
2023年3月期 通期 連結業績予想

(金額単位：億円)

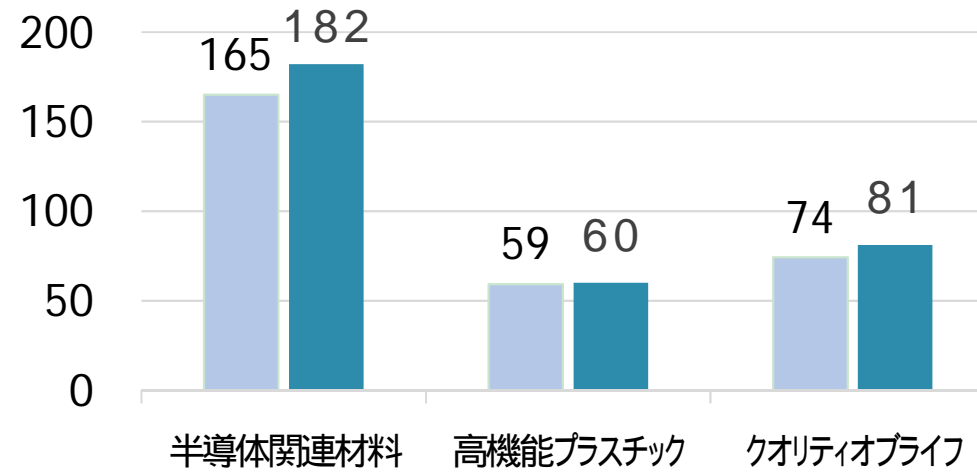
	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前年同期比較	
			金額 (-)	増減率
売上収益	2,631	2,900	269	10.2%
事業利益	265	285	20	7.6%
当期利益	183	210	27	14.8%

「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

セグメント別売上収益



セグメント別事業利益



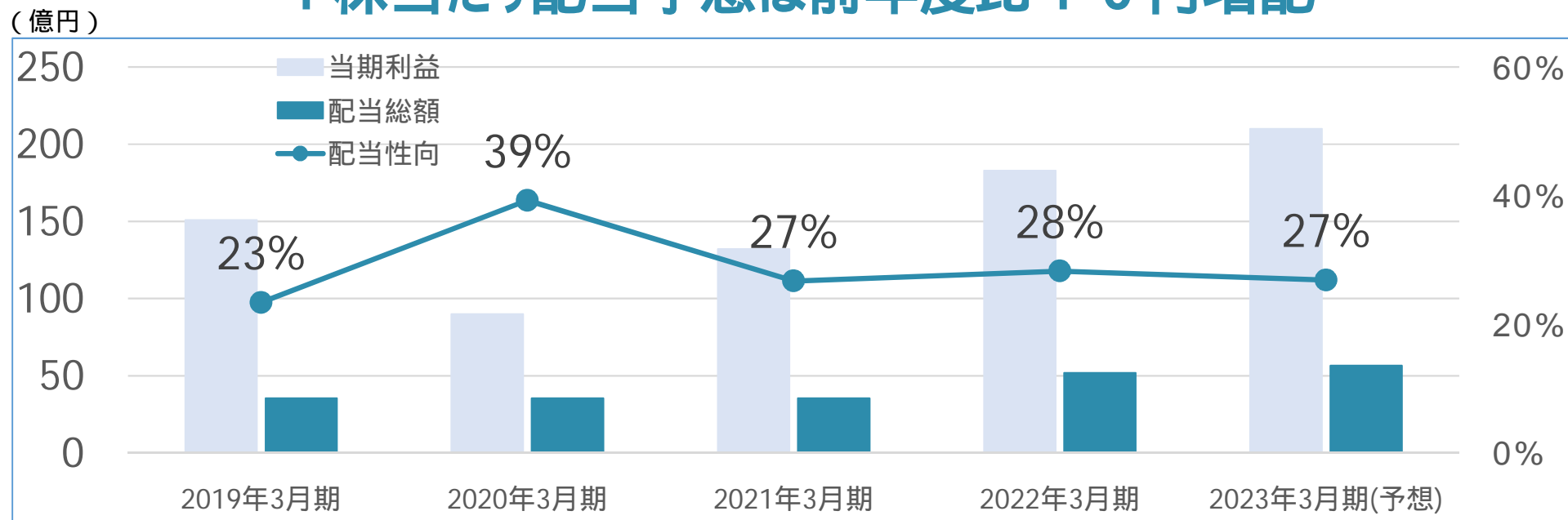
2022年3月期実績

2023年3月期予想

配 当

配当予想（2023年3月期）：120円 / 株（中間60円・期末60円）

1株当たり配当予想は前年度比10円増配



【配当金(円) / 株】

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
中間配当	37.50	37.50	45.00	50.00	60.00
期末配当	37.50	37.50	30.00	60.00*	60.00
年間配当	75.00	75.00	75.00	110.00*	120.00

* 4月25日に公表

中期経営計画のレビュー

本中期における主要施策

Vision

「未来に夢を提供する会社」

中期基本方針

機能性化学分野で「ニッチ & トップシェア」の実現

新しいビジネスモデルへの挑戦

組織カルチャーの進化

経営
基盤

組織横断



研究開発
マーケティング機能
ものづくり基盤



挑戦する文化の醸成
人事制度見直し
働き方改革

重点
施策

成長領域への積極投資 環境分野への布石
低迷事業のテコ入れ BCP対応

数値
目標

売上収益 2,500億円・事業利益 250億円・ROE 10%

SDGsへの貢献（カーボンニュートラル）

DX
推進

中期経営計画の進捗

SDGs貢献製品 売上比率目標

貢献製品の長期目標を達成すべく毎月の委員会にて活動を推進

2020年度 (実績)

37%

2021年度 (速報)

43%

2023年度

50%以上

2030年度

70%以上

環境対応の取り組み

カーボンニュートラルへの挑戦：国内の工場・研究所をグリーン電力に切り替え、2030年の国内目標を前倒し達成。さらに2035年までの全社環境開発ロードマップを策定
2021年2月のTCFDに賛同を踏まえ、WGでシナリオ分析を実施。（9月公開予定）

DXの推進

ビジネスモデルへの展開 DX人材育成、DX風土の醸成

研究開発：MI推進PJがデータ駆動型開発を推進し、研究開発能力を向上
モノづくり：オートパイロット制御をWW展開し、生産性を向上
業務全般：業務変革WGにより、人生産性・付加価値業務比率を向上

数値目標の見直し

中期経営計画の最終年度数値目標を初年度に達成
売上収益 3,000億円 事業利益 300億円を新たに設定する

(金額単位：億円)

	実績		業績予想	新設定数値
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上収益	2,090	2,631	2,900	3,000
事業利益	166	265	285	300

数値目標を見直し

	実績	当初計画 (2021年6月24日発表)		
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上収益	2,090	2,300	-	2,500
事業利益	166	190	-	250

2022年度 重点施策

汎用から先端材まで、顧客への生販研サポート体制で拡販

データセンター、電動車、スマート機器等が新たな半導体市場をけん引
一時的な混乱あるが、中長期的な半導体成長シナリオは変わらず

さらなる需要増に対応し、「地産地消」の生産能力増強

- ・中国：新ライン増設し、能力1.5倍増（2022年2月稼働開始）
ボリュームゾーンからハイエンドまで幅広い品揃えと安定品質
- ・台湾：島内唯一の封止材工場、能力2倍増（2023年半ば稼働予定）
米中問題もあり、台湾OSATの投資拡大中

5G・DX時代に対応する高機能材料展開

- ・高速大容量通信 高熱伝導MUF（モールドアンダーフィル）材
- ・次世代表示体向け 機能性感光材（高透明・高耐光等）

原材料の安定調達と、上昇分の速やかな価格転嫁



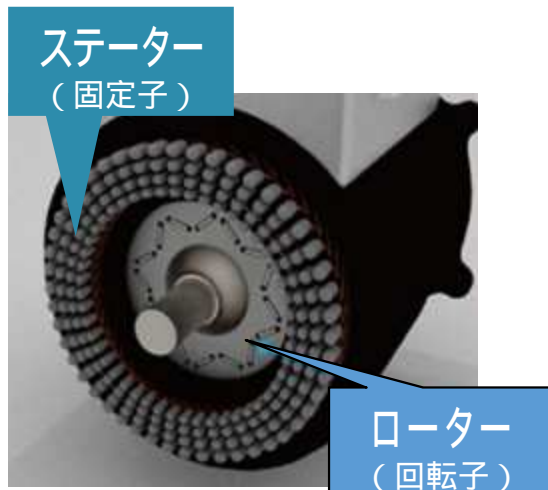
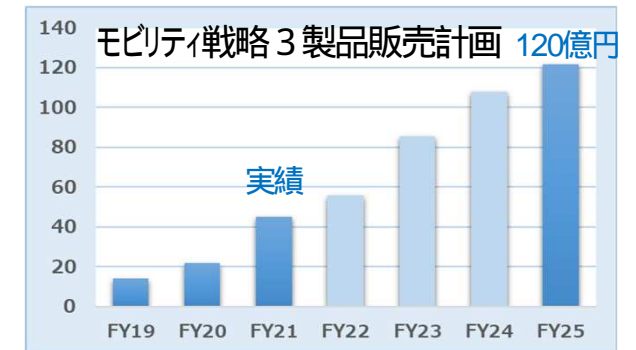
拡大する電動車市場へ 樹脂化のソリューション提案

モビリティ戦略3製品の目標（FY25：120億円）前倒し達成へ

- ・モーター磁石固定用：日米欧中韓他WW販売拡大、北米で量産立上げ
- ・ECU一括封止材：欧州向け現地生産でさらなるシェアアップへ
- ・パワーモジュール封止材 EV/HEV向けモールドタイプへの切替促進

次世代モビリティ用途開発

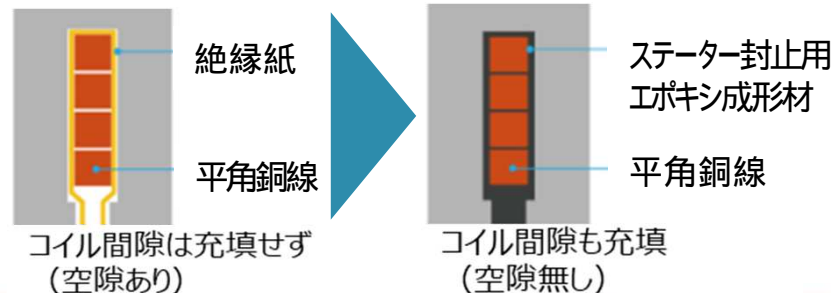
- ・磁石固定で築いた関係性でモーター関連アイテム創出



ステーター封止材

(従来) 絶縁紙 + 液状樹脂浸漬等

狭部充填性に優れたエポキシ成形材で封止



- ・モーター冷却効率改善
- ・コイル部分放電抑制

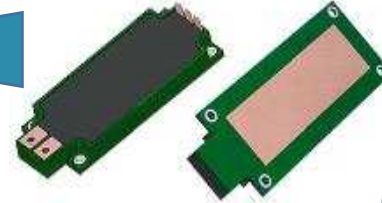
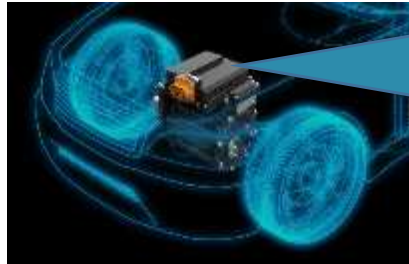
FY22に実績化目指す

成長市場へ注力、事業の拡大・強化

新ポリマー・成形材料 & モジュール化提案で新たな価値を創造

自動車(電動化)

駆動モーターコイルエンド絶縁材
高寸法精度材「SiON®」



IGBTにセット提案

- ・エポキシ樹脂注型材
- ・高放熱絶縁シート
- ・フェノール樹脂筐体

による顧客価値創造

パワーデバイス

高放熱絶縁シート、IGBTモジュール注型材

高集積デバイス

高精細表示体用ブラックマトリクス用ベース材

環境対応

植物由来(リグニン変性)フェノール樹脂、低VOC材(完全水溶性材、シート材)

航空機

小型機需要回復、拠点統合合理化、欧・中拠点から欧州市場拡販

大型成形品用材料を開発

1.5kgクラス成形可能材料と
成形解析技術を開発。
インバータ筐体、バッテリーケース等
樹脂化で、軽量化、コスト削減



280トンクラス

新たな機能性開発で、顧客の価値創造へ

■ 機能性フィルムで事業領域を拡大 (フィルム)

- ・産業用フィルム：半導体・電子部品用カバーテープ
中国市場のニーズに対応した新品番投入で拡販
- ・フードロス削減 大手スーパーへの採用進展
食肉用スキンパック、青果物鮮度保持フィルム「P - プラス®」



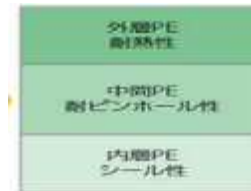
カバーテープ
半導体・電子部品用の
高速実装に対応



スキンパック包装
消費期限を大幅に延長

■ 環境対応フィルムの開発 (フィルム)

- ・モノマテリアルフィルムの市場投入
- ・バイオマスPTP医薬品包装シート拡販



モノマテリアルフィルムの層構成
多層フィルムをモノマテリアル化し
リサイクル性向上

ビジネスモデルの変革 (産機・防水)

- ・光学製品：HUDグローバル展開促進
- ・エレクトロクロミック技術を：アイウェア市場に投入開始
今後メタバース関連機器 (AR/VR) 等へ展開予定
- ・防水性能を有した高気密・高断熱・軽量屋根材「スミルーフDN」



エレクトロクロミックシート
わずかな電力で瞬間調光可能
広い透過率レンジと成形加工性



診断～治療を担う総合ヘルスケアメーカーを目指す

医療機器デバイス業界でのプレゼンス向上

(2021年10月：住友ベークライトと川澄化学の医療機器事業統合)

プラットフォームの共通化進め、経営基盤強化とシナジー最大化

【研究】低侵襲治療分野の新製品投入

- ・大動脈治療用ステントグラフトの拡充
- ・消化管ステントのフルラインナップへ(～FY23)



血管内治療関連製品

【営業】病院・企業・海外向けに組織再編

グローバル：北米向け採血キット、血液バッグ拡販



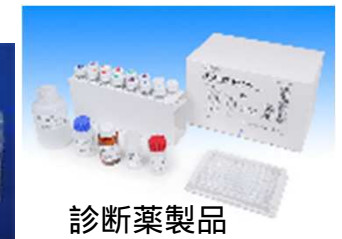
**S B カワスミ新本社・
殿町メディカル研究所**
羽田空港に近接、利便性良く、
ドクター来訪が期待

■ OneBio：バイオ事業の拡大

- ・新型コロナウイルス検査関連製品の販売好調
- ・S B バイオサイエンスを吸収合併(2022年4月)
自社診断薬の開発・拡販



O型糖鎖顕微鏡キット



診断薬製品

【免責事項について】

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

本資料に掲載されている住友ベークライト株式会社の計画、戦略、判断などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定および判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。当社の決算情報は、情報提供を目的としたものであり、ここに含まれる将来の見通し・業績見通し等に全面的に依存することはお控えください。また、投資等の最終的な意志決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

【著作権について】

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等を行うことを禁止しております。

【会社名の表記方法について】

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。